

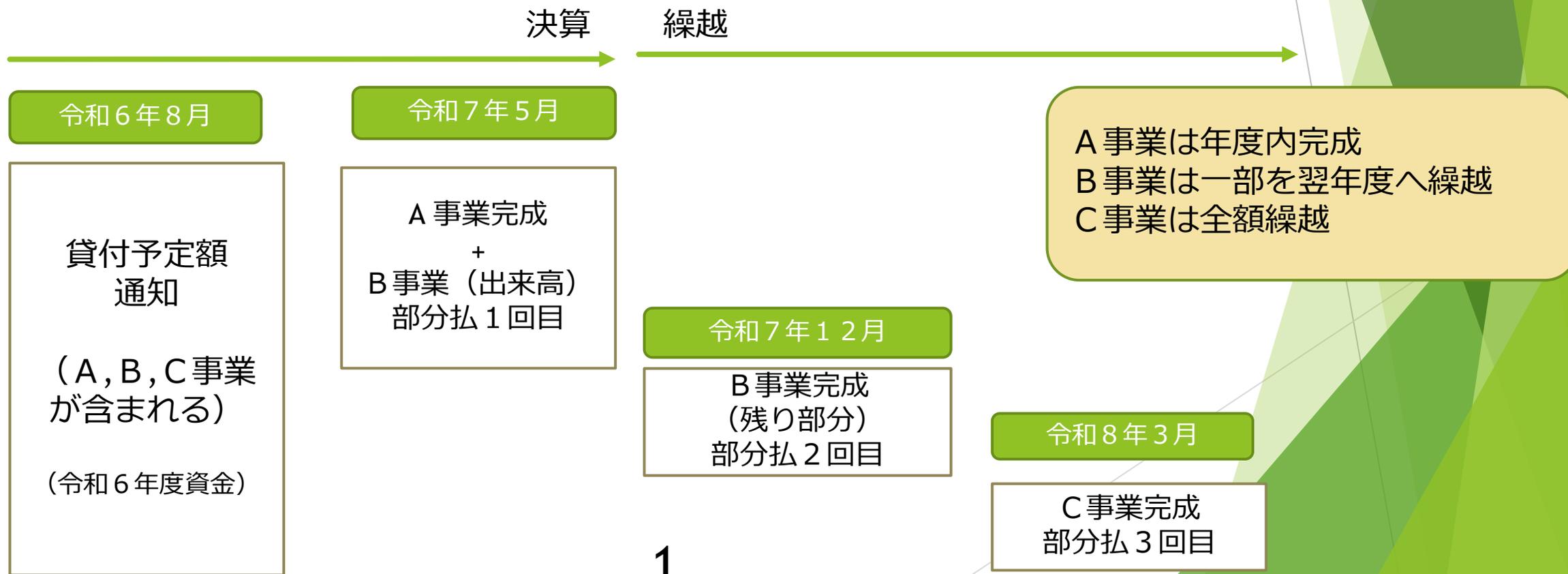
事業実施状況等調書について (部分払)

～令和5年度からの変更箇所・具体的な記載例～

1.部分払とは...

「同一の貸付予定額通知」をした事業について、事業の進捗状況（出来高）に応じて、複数回にわたって貸付けること。

▶ イメージ（部分払 3回の例）



2. 事業実施状況等調書（部分払）の作成単位

部分払時（1回目、2回目、3回目・・・）に提出する事業実施状況等調書の作成単位を以下のとおり変更する。

これまで

- ▶ 部分払の各回（1回目、2回目、3回目・・・）は、同一の貸付予定額通知に含まれる全事業の事業実施状況等調書を作成
- ▶ かつ、各回において、全事業の合計の総括表を作成

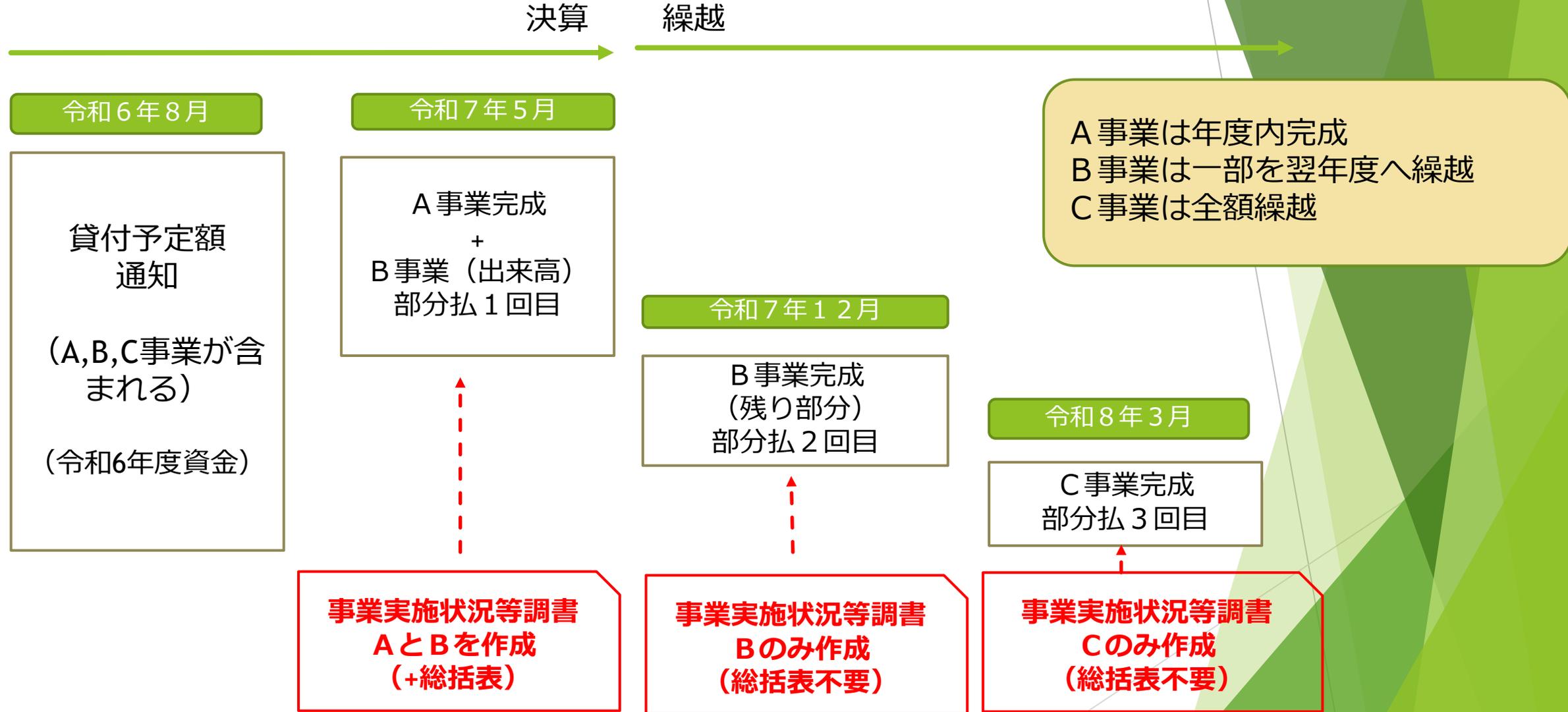


今後（令和7年1月受付以降）

- ▶ 部分払の各回（1回目、2回目、3回目・・・）は、該当事業のみ事業実施状況等調書を作成
- ▶ かつ、該当事業の合計の総括表を作成

※今後のイメージは次ページを参照

▶ 変更後のイメージ（部分払3回の例）



【補足】

「起債対象外事業費等に関する確認調書」も、該当事業分のみ作成
(詳細は例示17・P25を参照のこと)

3. 事業実施状況等調書（部分払）の記載例

▶ 資金年度内に1回、繰越後に1回の部分払を行う場合

1回目		事業開始日～ 事業完成(見込)日	支出金額 (単位: 千円)				支出状況				
			(補助事業分)	(単独事業分)	決算額	繰越額	前月まで	5月	6月以降		
美施設計		R7/3/31	5,000		5,000		5,000				
業務委託料		R8/3/31	2,720		2,000	720		2,000	720		
増築工事		R8/3/31	100,000		20,000	80,000	10,000	10,000	80,000		
			0								
			0								
計			A	107,720	0	0	27,000	80,720	15,000	12,000	80,720
財源内訳			収入金額 (単位: 千円)				収入状況				
項目	内容		(補助事業分)	(単独事業分)	決算額	繰越額	前月まで	5月	6月以降		
控除財源	国庫支出金	〇〇交付金	B	2,000	2,000			2,000			
	都道府県支出金		C	0							
			D	0							
			E	0							
起債	財政融資資金	本債	F	90,000	25,000	65,000		25,000	65,000		
			G	0							
	その他	H	0								
一般財源			15,720			15,720			15,720		
既収入特定財源			0								
一時立替金			0				15,000	△ 15,000			
計				107,720	0	0	27,000	80,720	15,000	12,000	80,720

各月の支出状況・収入状況を記入

2回目

2回目		事業開始日～ 事業完成(見込)日	支出金額 (単位: 千円)				支出状況		
(補助事業分)	(単独事業分)		決算額	繰越額	前月まで	3月	4月以降		
5,000			5,000		5,000				
2,720			2,000	720	2,000		720		
100,000			20,000	80,000	20,000		80,000		
0									
0									
107,720	0	0	27,000	80,720	27,000		80,000	720	
収入金額 (単位: 千円)		収入状況							
(補助事業分)	(単独事業分)	決算額	繰越額	前月まで	3月	4月以降			
2,000		2,000		2,000					
0									
0									
90,000		25,000	65,000	25,000	65,000				
0									
0									
15,720			15,720		15,000	720			
0									
0									
107,720	0	0	27,000	80,720	27,000	80,000	720		

決算額：1回目の事業費
繰越額：2回目の事業費